



『ミカエル』

1924年/ドイツ/モノクロ/95分

監督・脚本：カール・テオドア・
ドライヤー

原作：ヘアマン・バング

撮影：カール・フロント、ルドルフ・マテ

舞台美術：フーゴー・ヘーリング

出演：ベンヤミン・クリステンセン、
ヴァルター・シュレザーク他

2026年1月12日（月・祝）

14：00から（開場は30分前から）

郡山市立美術館多目的スタジオ



© 2016 Friedrich-Wilhelm-Murnau-Stiftung



© 2016 Friedrich-Wilhelm-Murnau-Stiftung

◆カール・テオドア・ドライヤー◆

（1889－1968）

19世紀末にデンマークで生まれ、常に独創的で革新的な作品を生み出しながら、一貫して人間の心の真髄をフィルムで捉え続けた、世界映画史が誇る孤高の映画作家。代表作「裁かるゝジャンヌ」など、79年の生涯で長編14作品を発表。ジャン・リュック・ゴダール、フランソワ・トリュフォー、イングマール・ベルイマンなどの巨匠たちをはじめ現代の先鋭まで、多大なる影響を与え世代を超えて敬愛されている。

著名な画家クロード・ゾレは画家志望の青年ミカエルを養子に迎え、豪邸に2人で暮らしていた。ゾレはパーティーで知り合ったザミコフ公爵夫人の肖像画を引き受けるが、彼女はミカエルを誘惑し、ミカエルもその美貌に魅せられてしまふ……。芸術家の愛と孤独と死を耽美的に描いた傑作！

入場無料
（申込不要）

